

第58回護憲大会 大震災から10年！防衛より防災！ 共に生きる確実な明日へ！



憲法理念の実現を目指す第58回護憲大会が10月30日、31日にわたり、新型コロナウイルス感染拡大の中人数制限され、宮城県仙台市、仙台国際センターにて開催された。メイン企画「震災から10年ー被災地の今と基本的人権」／「改正国民投票法の問題点」／「憲法課題をめぐる取り組み、各地からの報告」これら3点について熱い討議と報告がなされた。
塩竈支部委員長 長南 安典

憲法理念の
実現をめざす
第58回大会

21秋年末闘 行政申し入れ行動

東北地区港湾労働組合協議会は全国港湾「21秋年末闘行政申し入れ行動」各地区港湾の取り組みを10月29日(金)11時00分から宮城県仙台市、東北運輸局海事振興部、佐藤聡部長に提出しました。

東北地方本部書記長 矢代 正人





全港湾、全国港湾、各支部全体で150名の参加

能代闘争総決起集会

2021 11/10



この闘争は全国でたたかう
支部のたたかいは地方のたたかい

地方のたたかいは全国の仲間の問題である



能代港へと移動し能代運輸本社、與語社長への申し入れ活動

11月10日、秋田支部にて能代闘争総決起集会を行いました。全港湾、全国港湾、各支部と合わせて全体で150名の参加となり白熱した集会となりました。冒頭、司会進行の鈴木龍一副委員長より「この闘争は全国でたたかう、支部のたたかいは地方のたたかい、地方のたたかいは全国の仲間の問題である」という力強いスピーチが行われ、その後も2006年より勃発した能代問題について新妻委員長よりこれまでの活動報告がされました。翌日に我々一行は、能代港へと移動し、能代運輸本社、與語社長への申し入れ活動を行いました。職域の侵害、産別協定順守や港湾の安定的運営についての会議開催の提案をしました。今後、秋田支部でも能代運輸の動きに目を光らせながら全国と連携して闘争を行っていききたいと思います。

秋田支部書記長 靱山 昭雄